

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【公開番号】特開2017-92913(P2017-92913A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2015-225087(P2015-225087)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 20/12 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/93 Z

H 0 4 N 5/91 Z

G 1 1 B 20/12

G 1 1 B 20/10 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影された動画像、および、前記動画像に関連付けられた、前記動画像に含まれる第 1 の被写体のフレームごとの位置を示す情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した動画像のそれぞれのフレームに対して追尾処理を行うことによって、前記動画像のそれぞれのフレームにおける、追尾対象として指定された第 2 の被写体の動きを追尾する追尾手段と、

前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置と、前記取得手段により取得された情報が示す前記第 1 の被写体の位置との差が所定の範囲内のフレームにおいては、前記取得手段により取得された情報が示す前記第 1 の被写体の位置を用いて、表示手段に表示する前記動画像の表示領域を制御し、前記差が前記所定の範囲でないフレームにおいては、前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置を用いて、前記表示手段に表示する前記動画像の表示領域を制御する制御手段と、を有する  
ことを特徴とする画像再生装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記追尾対象が指定されたフレームにおいて、前記指定された追尾対象の位置と、前記取得手段により取得された情報が示す前記第 1 の被写体の位置との差が所定の範囲内の場合には、前記追尾手段による追尾処理を行わないように制御する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像再生装置。

【請求項 3】

前記表示手段を更に有し、

前記制御手段は、前記表示領域を前記動画像のフレームの一部となるように制御する、  
ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像再生装置。

【請求項 4】

前記表示手段は、前記動画像のフレームの全体をさらに表示する、  
ことを特徴とする請求項 3 に記載の画像再生装置。

【請求項 5】

前記第 1 の被写体の位置は、前記動画像を撮影する際に検出されており、  
前記取得手段は、前記第 1 の被写体の位置を前記動画像のヘッダから取得する、  
ことを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 6】

前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置を記録する記録手段をさらに  
有する、  
ことを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 7】

前記記録手段は、前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置を前記動画像のファイルとは異なるファイルに記録する、  
ことを特徴とする請求項 6 に記載の画像再生装置。

【請求項 8】

前記記録手段は、前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置を前記動画像のファイルのヘッダに一部上書きして記録する、  
ことを特徴とする請求項 6 に記載の画像再生装置。

【請求項 9】

前記取得手段は、前記記録手段により前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置が記録されている場合、記録されている当該追尾対象として指定された被写体の位置を取得する、  
ことを特徴とする請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載の画像再生装置。

【請求項 10】

取得手段が、撮影された動画像、および、前記動画像に関連付けられた、前記動画像に含まれる第 1 の被写体のフレームごとの位置を示す情報を取得する取得工程と、

追尾手段が、前記取得工程において取得した前記動画像のそれぞれのフレームに対して追尾処理を行うことによって、前記動画像のそれぞれのフレームにおける、追尾対象として指定された第 2 の被写体の動きを追尾する追尾工程と、

制御手段が、前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置と、前記取得工程において取得された情報が示す前記第 1 の被写体の位置との差が所定の範囲内のフレームにおいては、前記取得工程において取得された情報が示す前記第 1 の被写体の位置を用いて、表示手段に表示する前記動画像の表示領域を制御し、前記差が前記所定の範囲でないフレームにおいては、前記追尾処理によって検出された前記第 2 の被写体の位置を用いて、前記表示手段に表示する前記動画像の表示領域を制御する制御工程と、を有することを特徴とする画像再生装置の制御方法。

【請求項 11】

コンピュータに請求項 10 に記載の、画像再生装置の制御方法の各工程を実行させるためのプログラム。

【請求項 12】

コンピュータに請求項 10 に記載の、画像再生装置の制御方法の各工程を実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この課題を解決するため、例えば本発明の画像再生装置は以下の構成を備える。すなわち、撮影された動画像、および、動画像に関連付けられた、動画像に含まれる第 1 の被写

体のフレームごとの位置を示す情報を取得する取得手段と、取得手段で取得した動画像のそれぞれのフレームに対して追尾処理を行うことによって、動画像のそれぞれのフレームにおける、追尾対象として指定された第2の被写体の動きを追尾する追尾手段と、追尾処理によって検出された第2の被写体の位置と、取得手段により取得された情報が示す第1の被写体の位置との差が所定の範囲内のフレームにおいては、取得手段により取得された情報が示す第1の被写体の位置を用いて、表示手段に表示する動画像の表示領域を制御し、差が所定の範囲でないフレームにおいては、追尾処理によって検出された第2の被写体の位置を用いて、表示手段に表示する動画像の表示領域を制御する制御手段と、を有することを特徴とする。